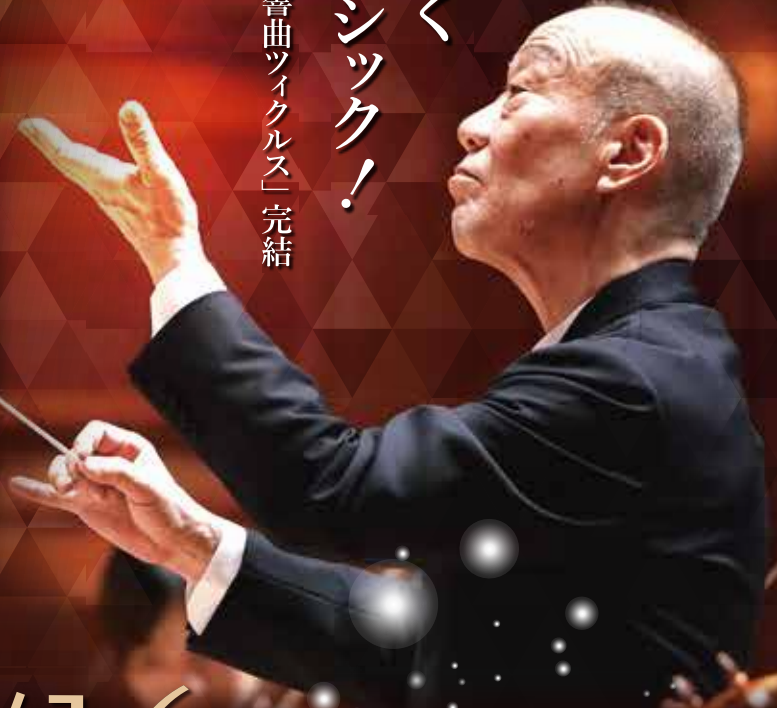


JOE HISAISHI

FUTURE ORCHESTRA

CLASSICS VOL.5

久石譲が導く
ニユークラシックス!
最先端のブラームス「交響曲ツィクルス」完結



久石譲 フューチャー・オーケストラ・クラシックス Vol.5

2022 7/16 Sat

OPEN 16:15 START 17:00

長野市芸術館メインホール



ベートーヴェン (Recomposed by 久石譲) :
弦楽四重奏曲第 13 番「大フーガ」変ロ長調 Op.133

ブラームス : 交響曲第 4 番 ホ短調 Op.98
ほか

* 曲目・曲順は変更になる場合がありますのでご了承ください。

指揮 / 久石 譲
管弦楽 / Future Orchestra Classics
コンサートマスター / 近藤 薫

全席指定

¥6,900 (税込) 円



久石譲が作曲家の視点で届ける “現代の古典”



「僕は作曲家として活動しながら、ある時期からオーケストラの指揮もするようになりました。そこでひとつの形に残したいと考えたのが、一人の作曲家の生涯の作品を通して、その作曲家が何を表現したかったのかを追求することでした」――。

近年は指揮者としての活動にも積極的な久石譲が、作曲家の視点でクラシック曲の新たな魅力を引き出すシリーズ、それが「JOE HISAISHI FUTURE ORCHESTRA CLASSICS」。長野市芸術館で 2016 年から 3 年にわたり芸術監督を務め、日本の若手トッププレイヤーによる「ナガノ・チェンバー・オーケストラ」を結成した久石譲は“ベートーヴェンはロックだ！”のコンセプトで、ベートーヴェンの全交響曲を 3 年かけて指揮。かつてない現代的なアプローチで聴衆を熱狂させました。また、演奏をまとめた CD 全集「ベートーヴェン：交響曲全集」も高い評価を受けています。

こうした活動を通して新しく生まれたのが本シリーズです。「ナガノ・チェンバー・オーケストラ」をベースに「Future Orchestra Classics」を新たに結成し、2019 年 7 月に「Vol.1」を開催。久石譲ならではのアグレッシブな解釈でベートーヴェンの交響曲 5 番と 7 番を披露し、クラシックファンから若い聴衆まで熱い支持を得ました。

2020 年 2 月の「Vol.2」からはブラームスの交響曲ツィクルスに取り組み、推進力と躍動感にあふれる演奏で喝采を浴び続けています。

そして 2022 年 7 月、ついにブラームス最後の交響曲、第 4 番が登場します。久石譲による現代曲を含むプログラムは、観客をニュークラシックという新しい体験へと導くことでしょう。

指揮／久石 譲

国立音楽大学在学中よりミニマル・ミュージックに興味を持ち、現代音楽の作曲家として出発。1981 年「MKWAJU」を発表、翌 1982 年にファーストアルバム「INFORMATION」を発表し、ソロアーティストとして活動を開始。1984 年の映画『風の谷のナウシカ』以降、宮崎駿監督作品の音楽を担当するほか、『HANA-BI』『おくりびと』『悪人』『かくや姫の物語』『家族はつらいよ』シリーズ『海獣の子供』など、話題作の映画音楽を多数手掛け、日本アカデミー賞最優秀音楽賞、2009 年紫綬褒章を受章するなど数々の賞を受賞。演奏活動においては、2004 年、「新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ (W.D.O.)」の音楽監督に就任。毎年海外公演を含むツアーを実施している。また 2017 年から「Joe Hisaishi Symphonic Concert: Music from the Studio Ghibli Films of Hayao Miyazaki」の世界ツアーをスタートし、パリ、メルボルン、ロサンゼルス、ニューヨークなどで開催し、大成功を収めている。近年は、ホルン協奏曲「The Border」をはじめ「TR1-AD for Large Orchestra」「THE EAST LAND SYMPHONY」「ad Universum」などの作品づくりにも意欲的だ。また国内のみならず、香港フィルハーモニー管弦楽団、台湾国家交響楽団、ロンドン交響楽団、メルボルン交響楽団、アメリカ交響楽団など海外の一流オーケストラを指揮。2014 年より、久石譲プロデュースによる世界の最先端の“現代の音楽”を紹介するコンサート・シリーズ「MUSIC FUTURE」を始動。2018 年の「Vol.5」では、作曲家デヴィット・ラング氏との競演が実現。東京公演のみならず、カーネギー・ザンケルホールでのニューヨーク公演はスタンディングオベーションで大きな話題をよんだ。さらに 2019 年 7 月には、新たなプロジェクトとして「フューチャー・オーケストラ・クラシックス (FOC)」をスタートさせ、「久石譲 ベートーヴェン：交響曲全集」をリリースし、2019 年度第 57 回レコード・アカデミー賞特別部門特別賞を受賞。2020 年からはブラームス全曲演奏が予定されている。作曲家として“現代（いま）の音楽”を伝える活動も精力的に行っている。

オフィシャルサイト <http://www.joehisaishi.com/>

管弦楽／Future Orchestra Classics (フューチャー・オーケストラ・クラシックス)

2019 年に久石譲の呼び掛けのもと新たな名称で再スタートを切ったオーケストラ。2016 年から長野市芸術館を本拠地として活動していた元ナガノ・チェンバー・オーケストラ (NCO) を母体とし、国内外で活躍する若手トップクラスの演奏家たちが集結。作曲家・久石譲ならではの視点で分析したリズムを重視した演奏は、推進力と活力に溢れ、革新的なアプローチでクラシック音楽を現代に蘇らせる。久石作品を含む「現代の音楽」を織り交ぜたプログラムが好評を博している。2016 年から 3 年をかけ、ベートーヴェンの交響曲全曲演奏に取り組み。2019 年 7 月発売した『ベートーヴェン：交響曲全集』が第 57 回レコード・アカデミー賞特別部門特別賞を受賞。日本から世界へ発信するオーケストラとしての展開を目指している。

コンサートマスター／近藤 薫

東京芸術大学をアカンサス賞を受賞して卒業後、同大学院修士課程修了。国内はもとより、海外でもソリスト、ゲストコンサートマスター、室内楽奏者として活躍している。現在、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターを務める。東京芸術大学、東京音楽大学、非常勤講師。全日本学生音楽コンクール、刈谷国際音楽コンクール審査員。東京フィルハーモニー交響楽団創設時のコンサートマスター近藤富雄は祖父で、三世に渡ってヴァイオリニストという音楽家の家系に育つ。

オフィシャルサイト <http://kondo-kaoru.jp/>

2022 7/16 (土) 長野市芸術館メインホール 16時15分開場／17時開演

全席指定 ¥6,900円 (税込)

★長野放送チケットセンター <https://www.nbs-tv.co.jp/event/ticket/> ★長野市芸術館チケットオンライン <https://www.nagano-arts.or.jp/>
★ローソンチケット <https://l-tike.com/hisaishi/> (Lコード: 36296) 【ローソン・ミニストップ店内 Loppi】 ★e+ (イープラス) <https://eplus.jp/hisaishi/>
★長野市芸術館チケットセンター tel.026-219-3191 (10:00～19:00/火曜定休)

主催：NBS 長野放送 共催：一般財団法人長野市文化芸術振興財団 協賛：株式会社イオスコアポレーション 企画：ワンダーシティ

お問い合わせ

NBS 長野放送事業部
tel.026-227-3000
(平日 10:00～17:00)